

大船渡土木センター

震災復旧・復興情報

かわら版

Vol. 19

◇ HPアドレス
http://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_doboku/010341.html

平成30年12月17日発行

1. 『高田松原 砂浜再生工事の現場見学会』を開催しました！

岩手県が整備を進めている「高田地区海岸砂浜再生（本格施工）工事」について、平成30年10月に海水浴場として利用される予定の区間（延長700m）が完成したことから、施工者（鹿島建設(株)・(株)明和土木特定共同企業体）の主催で現場見学会が開催されました。

見学会は、一般の方向け（平成30年12月1日）と高校生・大学生向け（平成30年12月8日）の2回に分けて開催し、高田地区海岸周辺の復興事業概要、養浜事業、工事概要の説明を行った後に、実際に砂浜を歩いて再生状況を感じていただきました。

工事は平成31年3月の完成を目指し、今後も安全第一で工事を進めていきます。



◆平成30年12月1日（土） 一般の方向け見学会（参加者:72名）

【見学会の様子】

当日は、陸前高田市に暴風警報が発令されていたため、防潮堤の上から全景を眺めることはできませんでしたが、バス車内から普段立ち入ることが出来ない公園工事の様子や、植樹された松原の様子も合わせてご覧になっていただきました。

注意事項を説明



砂浜を踏みしめる



思い思いに砂浜を歩く



砂浜に連なる長い列



【寄せられた感想（一部）】

松原の成育途中は砂浜の砂が不足して枯死した。砂が不足した時期は見学会のころから、工事の進行状況がわかるように、砂浜の復元と期待しています。

天候が悪い日は残念でした。このまま砂浜が再成されているとは嬉しい限り感謝しました。高田松原の近くで育ったので松原、砂浜の復活のいい様子を見られて良かったです。三年後には海水浴も出来ることと楽しみにしています。

今日は松原の見学会を企画していただきありがとうございます。皆同じ頭を持っているのにみんなに昔の松原が吹き飛ばされたのは本当に感謝します。どんな計算でどういふふうの図面を作るのか私等はどうも出来ません。今が50、50年前、子供達と海水浴した事そして小学校中学校時代の海浜学校を思い浮かべながら砂浜を歩いてきました。本当に、いばなそしてあの砂のかけと昔を思いとよばれたです。子供の海水浴が見れる又年後に楽しみです。

寒、中本当にこくろく様です。思った以上に砂浜が美しくできていてうれしかったです。完成かとも楽しみです。ありがとうございます。

砂浜はきれいになって嬉しくなりました。波で砂がさらわれて行くのは？との心配もありましたが、松も育って早く元の松原に戻るとよいと思いました。また、お散歩する日が楽しみです。

栗原 松原に行くと...何年ぶりだろうこの景色...砂浜、海風、見知らぬ松の木も少しづつ見えています。

水と何十年したら昔の松原にむかえるのかな。砂浜、水かし津波が来た頃のことや、再生した松原の姿を語りついでいいと思います。

◆平成30年12月8日（土） 学生の方向け見学会（参加者:7名）

【見学会の様子】

12月1日の見学会同様、事業概要、工事概要を説明した後に、実際に砂浜を歩いてもらい、さらに防潮堤の上から公園工事、松原の成長の様子など、高田地区海岸周辺の状況を確認していただきました。現場見学の後には、復興工事を担う先輩社会人が体験談などを説明し、学生と交流しました。

砂浜を歩く



波の様子を感じる



ドローンによる集合写真



先輩社会人のお話



【寄せられた感想（抜粋）】

私は、小学校の頃（震災前）によく行った高田松原の再生工事についてよく知ることができ、良かったです。高田松原が完成する前に見学することは、なかなか出来ないことだと思うので、良い経験になりました。また、携わっている方の日々の仕事についても説明していただき、「ものづくりのすばらしさ」を感じることができました。この経験を将来に生かして生活していきたいし、私たちの高田松原はたくさんの人たちの手でできているということを知り、人に伝えたいし、大切に使用したいと思っています。

砂浜があれほど綺麗に復興できていて驚きました。松の木も含めて、完全に復興できるのが楽しみです。

今日、現場を見学して、普段大学では学ぶことができない様々なことを学ぶことができました。特に、実際に高田松原の砂浜を歩いたときの足の感触に驚かされました。また、粒の細かさやきれいな点にも驚きました。これは、砂から泥を取るために三回洗うなど、現場で働かれている方々の仕事の成果であるのだなぁと感心しました。

工事現場でどのようなことが行われているのか、土木エンジニアがどのような気持ちで工事に取り組んでいるのか、生の声を聞くことができました。特に座談会では、仕事についての気になることや疑問を解決することができ、モチベーションをつくるきっかけになりました。

高田松原には初めて訪れたが、防潮堤の設計や建設作業が順調に綿密に行われていると感じました。実際に砂浜に踏み入ると砂粒の細かさに驚き、新雪のような柔らかさだと思えました。また、工事には多くの企業の協力が必要であり、住民の支援も必要であることが分かりました。

私は公務員になって、防災対策に携わりたいと考えていました。今回の見学によって、自分が公務員を目指す意思や理由をより深めることができました。インターネット上では調べることができない内容も教えていただき、とても参考になりました。公務員になる夢をあきらめず、県の発展のために活躍できる人材になりたいと思いました。

養浜砂を県外から持ってきたという説明でしたが、実際に砂浜を見て違和感のない仕上がりで、満足のいく結果と感じました。松もきれいに植えられており、一般公開される2年後が楽しみに思います。自分の他にも公務員として復興に携わりたいという方がいたので、自分も改めて熱意を持つ良い機会になりました。ありがとうございました。

□□ かわら版に関する問合せ先 □□

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター河川港湾課（本庁舎）
TEL:（本庁舎）0192-27-9919、（分庁舎）0192-26-1951

◇E-mail: BG0005@pref.iwate.jp